



## 男女 fifty-fifty に向けた女性リーダー育成拠点の挑戦

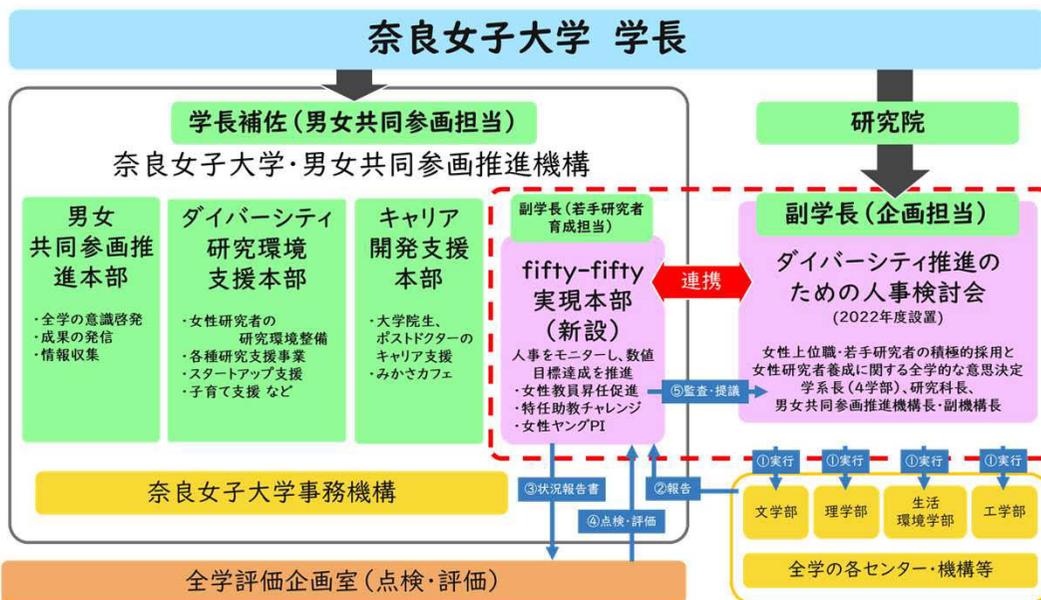
— 奈良女みかさプログラム: みがく・かがやく・さきほこる —

### 【実施体制】

「男女共同参画社会をリードする人材の育成」を基本理念に掲げる奈良女子大学が、将来的に男女比を“fifty-fifty”とする大学環境を実現するため、女性教員比率の数値目標等の全学的な人事構想を、学長・副学長・全学部長・研究科長・男女共同参画推進機構長・同副機構長及び事務局で構成する「ダイバーシティ推進のための人事検討会」において学長の強いリーダーシップのもと全学を挙げて推進する。

学長直属の男女共同参画推進機構においては、大学院生から管理職までのライフコースの歩みに沿って総合的に女性研究者を支援する「奈良女みかさプログラム」を実施するとともに、人事の数値目標達成を確実なものにするため、「fifty-fifty実現本部(新設)」が全学の人事動向をモニターし、「ダイバーシティ推進のための人事検討会」に女性教員の採用及び昇任を提議する。

### 【体制の概要】



### 【取組概要(目標)】

第4期中期目標・中期計画 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画		
女性教員採用比率	全学女性教員比率	上位職女性教員比率
50%	41% (国大協目標 24%)	35%

一般事業主行動計画達成のための奈良女子大学の取組方針		
自然科学系 女性教員比率	自然科学系 上位職女性教員比率	
35%	31%	

本事業6年目の目標値		
女性教員採用比率	全学女性教員比率	上位職女性教員比率
50%	現在41% → 44%	37% → 39%
学長・理事・副学長	学長補佐・部局長など	教授女性比率
50%	24% → 30%	30% → 34%
(国大協目標 20%)	(国大協目標 20%)	(国大協目標 20%)

### 【特長】

「大学院生→若手・中堅研究者→上位職・管理職」のライフコースの歩みに沿った、「総合的な女性研究者のキャリア形成プログラム(みかさプログラム)」を推進し、学内の他分野より低い理学・工学系部局の教授・准教授への女性教員の昇任を促進し、当該課題の解決を図る。そして、女子大学をはじめとする全国の大学のモデルとなるよう、女性リーダー育成拠点としての役割を担う。

### 将来的に男女比がfifty-fiftyな大学の職場環境を実現

- 自然科学系女性教員比率、特に理工系女性教員比率、女性教授比率、女性上位職比率の向上
- 女性の上位職・管理職の積極的登用

### 次世代女性リーダーの裾野拡大

- 自立した優秀な女性研究者の育成とその輩出をさらに促進

## 【支援内容】

### 奈良女みかさプログラム

女性研究者がワークライフバランスを取りながら歩む姿を、奈良女子大学から眺望できる三笠山(若草山)の登山に例える

三層からなる三笠山は広大な裾野をもち、その上り坂は緩やかで、歩みを止めることなく、連続する三つの山を一步一步確実に登っていくイメージに重ね合わせた

### 女性研究者の裾野拡大加速「みがく」ための支援

- 女性研究者コミュニティ「みかさカフェ」を開催し、大学院生のロールモデルとなる女性研究者による交流を促進
- 「みかさフェローシップ」により大学院博士後期課程学生に研究費を支援し、研究マネジメント力と学位取得を促進

### 女性研究者の研究力向上加速「かがやく」ための支援

- スタートアップ経費を支援し、新規採用女性教員に研究環境を整備
- トップレベル女性研究者の研究推進支援として、研究費の配分、ポスドク等の配置を行い、研究に専念できる環境を提供
- 研究代表者として共同研究をマネジメントする「大型共同研究費支援」や、在外・国内研究の研究費や不在期間中の代替非常勤講師配置、研究力強化のための支援
- 女性ヤングPIとして特に優秀な若手女性研究者に研究費配分とポスドク配置により研究室を主宰
- スキルアップ支援として、国内・国際学会参加支援、英文校閲費支援及び論文投稿費支援
- ライフイベント(出産・育児・介護・病気・怪我等)中の女性教員の研究教育活動支援として、博士課程修了生や大学院生を女性リーダー育成型支援員として配置

### 女性上位職・管理職登用加速「さきほこる」ための支援

- 大学運営・意思決定に関わる女性教授に、非常勤講師や女性リーダー育成型支援員を配置
- 上位職(教授・准教授)女性教員にポスドクまたはRAを配置し、研究時間の確保
- 自然科学系分野で「昇任」した女性教員に対し、研究費を支援し、研究成果を加速
- 前倒昇任により、シニア教員の定年退職を待つことなく意欲と能力のある女性教員の昇任を加速

女性教員が学内でかなりの比率を占めるに至った現状を好機に、我が国の将来の大学運営における男女「fifty-fifty」の先駆的モデルとなる



## 【これまでの活動紹介】

### 若手女性の研究力向上

#### 女性研究者養成システム改革加速

目的:優れた理工系女性研究者の採用・昇任促進  
取組:メンター制度、スキルアップ支援

A評価

### ダイバーシティ研究環境の整備

#### 女性研究者支援モデル育成

目的:研究と家庭生活の両立の環境整備  
取組:「ならっこネット」

A評価

教育研究支援員、相談室

#### ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

目的:研究環境の一層の充実  
地域の大学・企業との情報共有  
取組:訪問型の病児・病後児保育  
関西でのネットワーク構築

A評価(中間評価)

## 【お問合せ】

機関名:国立大学法人奈良国立大学機構  
奈良女子大学

所在地:奈良市北魚屋東町

連絡先:男女共同参画推進機構

E-mail: mikasa@cc.nara-wu.ac.jp

HP: <https://mikasa.nara-wu.ac.jp/>



奈良女子大学  
Nara Women's University